

郷育かわら版

VOL.128



郷ちゃん

育ちゃん

私たちのふるさとである福津。この福津という「郷」で学び、「育」じいことができた。そして、地域を育てていけたら。そんな思いで作っている、この「郷育かわら版」。今年、福津市10周年を迎えたことを機に、紙面を一新しました。「郷育」で取り組んでいるさまざまな講座や事業などを紹介します。皆さんもいっしょに「郷育」に取り組んでみませんか。

企画編集 福津市郷育推進課(津屋崎庁舎) ☎52・4969

今月は「福津の夏学校」について紹介します。

ふるさとの魅力再発見

「福津の夏学校」とは、私たちのふるさとである福津の魅力に気づき、体感してもらおうことを目的に開催しています。

今年7月25日に宮司コミュニティセンターを会場として開催し、大人、子ども合わせて約100人が参加しました。

福津の海岸で拾った貝や流木で作る貝殻アート、藍のたき染めハンカチづくり、福津野菜で作るアイスクリームなどを体験。福津の生き物、食べ物、暮らしを身近に感じることで、ふるさとの魅力を再発見し、参加者みんなで共有することのできる楽しい夏のひと時になりました。



▲福津に暮らす生き物に子どもたちは興味津々

郷育推進課からのお知らせ

親子野外活動支援事業の植物観察参加者を募集

市内に生息するいろいろな植物を観察しに行きましょう。

日時 11月1日(日) 午前9時～午前11時30分

集合場所 市中央公民館(観察場所まで市のバスで移動)

講師 薛孝夫さん(西日本短期大学緑地環境学科特任教授)

対象 小・中学生とその保護者合わせて20人程度

参加費 無料

託児 子ども一人3000円。生後6か月から未就学児まで。要

予約。受付期限 10月15日(木)

応募方法 電話またはファクス受付、問い合わせ 市郷育推進課 ☎52・4969 FAX 52・4469

※ファクスの場合は、送信後に確認の電話をしてください。

※定員を超える場合は抽選になります。抽選結果は、はがきでお知らせします。

「にこにこ」展作品募集

ボランティアハウス・ふくまでは、10月に展示する作品を募集します。「見ていて楽しくなるようなもの」「なんだろう」と見入って

しまうようなもの」「なるほどと感心するようなもの」の絵や写真、オブジェなどを募集します。ボランティアハウスで皆さんに楽しんでもらいましょう。

応募資格 市内に在住、通勤、通学している人

募集期間 9月14日(月)～9月29日(火)

応募方法 募集期間中に、ボランティアハウス・ふくまへ作品を持参ください。なお、作品は展示終了後、返却します。

展示期間 10月1日(木)～10月31日(土)

問い合わせ ボランティアハウス・ふくま ☎42・9071

※日曜・水曜日は休館日です。

今なら間に合う!!

10月 郷育カレッジ講座

定員に空きがある講座の受講生を追加募集します。先着順ですので定員に達しだい、受け付けを終了します。

●受付開始 9月24日(木)

- 7日(水) 14:00～16:00 宗像とはどんなところか
- 8日(木) 10:00～12:00 中世の浦・島と宗像氏(戦国時代)
- 9日(金) 10:00～11:30 小学校の遺跡見学
- 17日(土) 10:00～12:00 アサギマダラを観察しよう
- 21日(水) 14:00～17:00 宗像の歴史めぐり(古墳編)
- 23日(金) 10:00～12:00 反射神経と“バランスカ”アップのトレーニング②
- 30日(金) 13:30～16:30 津屋崎に塩田があったなんて
- 31日(土) 10:00～11:30 やりたいこと知りたいこと再発見!

講座を受講するには、カレッジ生として登録する必要があります。講座の内容は、市公式ホームページの郷育カレッジ講座一覧や公共施設に置いてある冊子で確認できます。詳しくは、市郷育推進課まで問い合わせください。

受付、問い合わせ 市郷育推進課(津屋崎庁舎) ☎52・4969

ボランティアハウス・ふくまの月替わり作品展に、お越しください。

◆10月の展示

「にこにこ展」

市民の皆さんから募集した作品展 10月1日(木)から10月31日(土)まで

開館時間 10:00～18:00
休館日 日曜・水曜日
問い合わせ ボランティアハウス・ふくま ☎42・9071

講座あれこれ

郷育カレッジには大人も子どもも楽しく学べる講座がたくさんあります。このコーナーでは最近開催された講座を写真で紹介いたします。

藍の家で

藍染めをしてみませんか?



▲伝統的な染め方を学びます!

開催日 8月5日

講師 柴田 奈緒美さん

かつて染物屋だった藍の家は、築100年以上になる歴史的な文化財産です。

ここで受講生一人一人が丁寧に染めたハンカチや手ぬぐいは、世界に一つしかないすてきな作品となりました。

うみがめクラブとわくわく生きもの教室



▲甲羅を背負ってうみがめの気分を体験!

開催日 8月7日

講師 光陵高校うみがめクラブ

福津に生息する生きものを紹介してもらった後は、実際にうみがめクラブの生徒が育てている水槽の魚を観察したり、うみがめの甲羅に触れたりして、楽しく学ぶことができました。

みんなおいでよ

アンビシャス広場

●福津市郷育推進課(津屋崎庁舎) ☎52・4969



アンビシャス広場とは、子どもたちが放課後や休日に地域で安心して立ち寄ることのできる「居場所」です。

福間南小校区アンビシャス広場の紹介



▲デイキャンプでの夕飯の様子

宿題や将棋、トランプ、裏山を駆け回っての遊びと元気に飛び跳ねる子どもたちでにぎやかな広場です。また、子どもたちが仲間を大切に、思いやりを育み、地域との関わりを大切にできるよう、節目節目に自然学習、体験学習を行っています。

対象地区 福間南小学校区
施設名 四角公民館、光陽台南公民館
開所日 毎週火曜日
連絡先 船越さん ☎090・1080・62807

囲碁・将棋大会 7月例会結果

市内の囲碁・将棋同好会の例会結果をお知らせします。 (敬称略)

福津市将棋同好会
 【1位】A滝口純一 B佐藤幸四郎 C村上良明 D安松辰男 E赤星文雄 F蒲生守
 ●連絡先 吉村友行 ☎43・1308

福津市囲碁会
 【1位】1今丸演 2福田豊 3吉田幸博 4藤井修 5中嶋孚 6柳川正尚 7桜井峰治 8城野正雄
 ●次回 10月11日(日)午前10時受付締め切り
 ●会場 市中央公民館 和室
 ●連絡先 三原敏男 ☎42・3916 井本雅文 ☎42・0566

市実年囲碁会
 【1位】1牛垣徹 2猪俣征雄 3佐藤辰夫 4阿部学 5中嶋一 6安田礼一 7松尾正久 8武田隆幸 9相部清人 10大塚俊一
 ●次回 10月6日(火)、10月20日(火)午前10時受付締め切り
 ●会場 市中央公民館 和室
 ●連絡先 満生志雄 ☎43・2420

津屋崎囲碁同好会
 【1位】A石松良治 B中嶋孚 C宮川義信 D城野正雄
 ●次回 9月27日(日)午前10時受付締め切り
 ●会場 福津市文化会館
 ●連絡先 永島和美 ☎52・5610

紙面の都合上、上位者のみの掲載となります。

あじさいロード

[地域婦人会だより]

このコーナーでは、地域婦人会の活動を紹介します。

あじさいの花がら摘みを終えて
 私たち地域婦人は、平成2年、西郷川岸辺にあじさいを植え「あじさいロード」と名づけて、年3回の草刈り、花がら摘み、捕植、肥料やりを行ってきました。今年も5月に草刈り、7月に花がら摘みを行いました。市民の皆さんに、助けていただいたので、あじさいロードは見違えるようにきれいになりました。近所のかたにもたいへん喜ばれて、道行く人も気持ちよく行き来しています。皆さん眺めてみてください。私たちが動ける限りボランティア活動をしようと思っています。

47年ぶりに福岡県で開催されます
 毎年、各県の地域婦人会と交流、研修、連携を深めながら、開催される全国地域婦人会大会が、一巡し、再び47年ぶりに開催されます。10月1日から2日間、ヒルトン福岡シーホークホテルで福津市の地域婦人会も、延べ55人参加します。

この全国大会を通して、会員の意識向上と連帯感を高めていきたいと思います。

問い合わせ 井手和子さん ☎42・2524

地域の日

●福津市郷育推進課(津屋崎庁舎) ☎52・4969

住民の皆さんが地域のことを考え、参加するきっかけとするため、奇数月の第3土曜日・翌日曜日を「地域の日」と定めています。

地域について話し合いました!



▲グループでの話し合いの様子

コミュニティ・スクールフォーラムが、8月8日に津屋崎中学校で行われました。各学校の児童生徒の代表が「私の地域自慢」「守ってきたい地域の良さ」など、地域に対する思いや学んだことを発表しました。その後、大人と子どもを交えたグループに分かれ、地域に対する思いや学んだことについて活発な意見交換をしました。子どもたちは、「地域の人のいい話ができよかったです。もっと話したい。」と語っていました。

心の歌

俳句

市内の俳句愛好会のかたがたの作品です。
 一般投稿の締め切りは、前月15日です。
投稿先 市中央公民館
 ☎43・2100 FAX43・2868

【太郎丸俳句会】

花鰹たぶりかけし冷奴 木下正治 / 語り部の夏七十年をさかのぼる 薄美津子 / 白鷺や雛をうながす親ごころ 黒岩貴美子 / 昼寝覚すつきり棚置き忘れ 山田章 / 秒針は人の鼓動に似て晩夏 目代タカ子 / CD軍歌ぐるぐる廻る浮人形 塩毛信子 / 嵐去り南瓜ごろんと熟れてをり 中村加寿子 / 楠大樹炎暑の昼を裏返す 下瀬孝子 / 味噌汁を濃くして梅雨の明けにけり 高見元子 / 七月や更地となりて風通る 坂上俊恵 / リハビリの窓辺に見ゆる時計草 納富早苗 / 夏草の我を引くなど根を張りし 真子敬明 / 夏草の刈り残されて風になる 吉田照子 / 昏れてより立夏の風の生れにけり 竜口雅博 / 夏休み子供は「猿」と思う時 松下桂子 / 梅雨のいう重たき時間本を読む 薄多佳子

【海】

サングラス格好ばかり釣果なし 凡天 / あじさいや肩を寄せ合う石の段 つるみつを / 目印のノーゼンカズラ照り映える 前田フヂエ / 初心者マーク車すいすい青田風 小林淑子 / 重ね来し身を正す術鉄線花 田中照子 / セタや宝石箱を開けて見る 岡部ヤエ子 / 短夜やときめくドラマ終りたる 原田令子

【津屋崎俳句会】

朝顔のまつまっ先に陽を捕らへ 松尾忠義 / 花合飲や乾きし胸を濯ぎおれり 藤山佳子 / 丑の日にうなぎの列を素通りす 室元松希興 / 露地裏へ沈みゆく陽の余韻かな 鈴木敦子

【一般投稿(短歌)】

悠久の昔のすがた想いつつ観世音寺の鐘楼に立つ 松本蓮 / 水芭蕉ワタスゲ白く風に揺れ一輪草は木蔭に咲ける 宗像治子 / 半月の光増し見ゆ夕空に夜ガラスの声遠ざかり行く 徳永タミ子 / ウイーンより遙々空を越えて来し少年達の清き歌声 山本夏枝 / 水漬く屍鎮魂なきまま七十年恨みは深し日本海とふ 方木修一 / 蝉しぐれ親しき友の文絶えて思ひは募るあれから二年 宙燃 / シンドニーでオリンピック後青色のラインを歩き金高橋を 阿部英子 / オランダの空港で会えし弟よ病快癒しいざリスボンへ坂口怜子 / 雲の峰くぐり電車のまつしぐら何もかもたよりになく炎天に消ゆ 佐々木冴子 / 縫物は針一本のはこびから雑布一枚正絹一反 川本幸重

【一般投稿(俳句・川柳)】

蝶螺焼く香りの中の漁師たち 御幸静恵 / ピンチはチャンス後期高齢まだ達者 中原恵子 / 絵のなかに入ってみたい泳ぐ鯉 管田圭秀 / 朝顔にひかけ貰いて癒されし古賀新太郎 / 草刈は年寄りばかり蟬時雨 碧水 / 逢へる日の心の揺れを如何にせん 中島久次

(敬称略)

